

メッセージ

被爆 75 周年原水爆禁止世界大会にあたり、原爆投下によって犠牲になられた方々に哀悼の誠を捧げるとともに、いまなお後障害に苦しんでいることにお見舞い申し上げます。

核兵器禁止条約は 2017 年に国連で採択されてから 3 年経過しましたが、いまだに条約が発効する批准 50 カ国までにはたっしておりません。

被爆者は「被爆の実相」をつたえようと、原子野の焼け野原から生死をさまよいながらたちあがり、プレスコードなどの多難を乗り越えて被爆体験を語ってきました。被爆者が徹頭徹尾願ってきたのは「核兵器廃絶」と「原爆被害への国家補償」です。このふたつはふたたび被爆者をつくらせないこと、すなわち、二度と戦争をさせないとの決意です。「核と人類は共存できない」ことをみずからの被爆証言活動で実践してきました。日本政府が一刻も早く核兵器禁止条約を批准することを要求します。

社民党は「核絶対否定」を胸に刻み、核兵器と原発の廃絶を求めて平和運動に邁進していくことを誓いまして激励と連帯のメッセージといたします。

2020 年 8 月 6 日

社会民主党
党首 福島みずほ